

Title	日本に関する最近の目録二部
Sub Title	
Author	幸田, 成友(Koda, Shigetomo)
Publisher	三田史学会
Publication year	1930
Jtitle	史学 Vol.9, No.4 (1930. 12) ,p.117(639)- 112(644)
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	
Genre	Journal Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00100104-19301200-0107

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the Keio Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

日本に關する最近の目録二部

自分が歐洲滯在中に得た二つの目録を紹介する。その一はフランシスカン派のドクトル・ロベルト・ストライ特師の「布教關係書籍目録」Bibliotheca Missionum. By P. Dr. Robert Streit O. M. I. その二はダニエルの日本學會で編纂した「獨逸諸圖書館現在日本關係書籍目録」Catalog der in deutschen Bibliotheken und in einigen ausserdeutschen Büchereien Europas vorhandenen Japan betreffenden Druckwerke aus den Jahren 1542-1543. Bearbeitet vom Japaninstitut in Berlin. ドラ。

ペリヤ特師の目録は、廣告によるも、卷一は總説、卷二は亞米利加布教文獻（一四九三年—一六九九年）、卷三同上（一七〇〇年—一九〇九年）、卷四亞細亞布教文獻（一一四五五年—一五九九年）、卷五同上（一六〇〇年—一六九九年）、卷六同上（一

七〇〇年—一七九九年）、尙それ以下は準備中である。本年四月出版の豫定でしたが、まだ出ません。自分が所持してゐるは卷四と卷五だけで、その内容を擧げると、卷四是

- 一、十三世紀 蒙古帝國に於ける布教
- 二、十四世紀 蒙古帝國に於ける布教
- 三、十五世紀 一、蒙古帝國に於ける布教

一、葡萄牙領印度

四、十六世紀

一、印度

附錄

二、フュリッピ

ン 附錄 三、日本 附錄 (三

六八頁—五一五頁) 四、支那

附錄 追加

五、索引

一、著者索引 二、人名索引

三、件名索引 四、地名、國名、

人種名索引 五、言語索引

また卷五は左の通りです。

一、印度 附錄

二、フリッピン 附錄

三、日本 附錄(三六二頁—五八五頁)

四、印度支那 附錄

五、支那 附錄

六、索引 (内譯は卷四に同じ)

前掲の内容目次を見ても推量せられるやうに、ストライト師の目録は國別と年代順とを併用し、某の國某の年にカトリック教の教師の書いた一切の書類を挙げたものである。その記載項目は、第一が筆者の氏名・宛名・場所・年月日、第二がその書類を收録した書名・發行地・發行年・丁數又は頁數、第三が手紙の内容、第四が筆者の履歴、同一人の他の書類の番號、第五が参考書類の書名・發行地・發行年・頁數等である。それから是等の書類を編輯して出版した書物は、その出版の年にかけてあるが、その方を見ると、第一が書名、これは原本の扉をそのまま寫し、行の改まる所は//を用ひ

て示してあるから、書名は勿論發行地・發行者・發行年を知ることが出来る。第二が本の大きさと丁數又は頁數、希本の場合には所在の圖書館名と函架番號、第三が本の中味即ち扉・序文・本文等の丁數又は頁數、もしそれが書翰集であれば、筆者の名前と場所と年月日とを挙げ、一々丁數又は頁數を示してある。第四が重版又は翻譯版との參照、第五が参考文献です。つまり一通一通の書類の方からも、その書類を數通なり数十通なり集めた書物の方からも、自由自在に引けるやうになつてゐるのです。

若し一つ／＼をとつて仔細に吟味したら、或者についてでは説明の不足、また或者については分類の不穩當を感じることも有り得るでしよう。即ちこの本は印度の部へ入れるよりも寧ろ日本の部へ入れる方が適當では無いかといふやうな議論も生じるでしようが、それは畢竟見解の相違ですから致し方がありません。記事の方法についても時について記載の事項が非常に多いのですから、些

細の不一致は餘程注意しても起り勝で、一人の著作であるだけに、その不一致は甚だ少くなつたものと考へねばなりますまい。著者の身分はバチカン布教圖書館々長とあります。自分がローマに遊んだ時は、まだ本書を知らなかつたため、この篤學努力の師父に拜顔しなかつたことを、今更遺憾に思ふ次第です。

今の教皇バイヤス十一世は著者に同情し、厚い援助を與へられたので、著者も亦感激して本書を教皇に奉獻されてゐます。教皇は「貴師の成せる偉業を、正當に評價し、判断し得るは、たゞ圖書館員のみである」といひ、また「本書は公教の傳道事業の最も大いなる辨明であり、公教傳道の活動の文庫であり、教師にとつては武器庫であり且武器であり、また一般の科學に對し、殊に傳道の科學に對し、頗る豊富な知識の源泉である」と言はれた。現教皇は御自身曾て圖書館員であられた。即ちミランのアムブロジヤナの圖書館長、ローマのバチカンの圖書館長を勤められた方であるから、この讃辭は決して通り一ぺんの讃辭では無い。

自分は圖書館員では無いが、本書の價值を了解することに於ては、決して圖書館員に劣らぬ積である。昨年九月ボンのヘルツ・エス寺の文庫で本書を見て感嘆し、早速出版元 Franziskus Xaverius Missionsvereins in Aachen に注文して本書を取寄せた。廣島の土井忠生君も自分の持本を見て本書を買求められた。歸朝早々丸善の江口君に見せたら同君も早速取寄せるといはれた。一度實物を見たらどうしても座右に置きたくなる良書だと明言し、さうして之を證明するために、本書を利用した一例を記します。

自分は本春歸朝の途中で獨逸譯の耶蘇會通信 *Sendtschreiben* を一冊手に入れた。豚の皮の裝釘で、真鍮の金物のバンドが二ヶ所あつて、頗る體裁のよい本であるが、惜しいかな完全な本でない。タイトル・ペーチは朱墨の一色刷で「優れて名高き日本及び支那帝國の時報並に歴史的報告續篇」一五九三年インゴルスタット版 Fortsetzung der Zeytungen vnd historisch Berichts aus den für-

sischen Königreichen... Ingolstadt, 1593. ある。段々頁をくつて行くと、四七二頁以下は數枚本文をむしり取つた痕跡があり、次ぎにすゞ二丁と丁付があつて、二六六丁（二六六は實は一六六の誤）までつづれ、それから後は全く缺けて居り、それが丁度全冊の三分一ばかりにあたる。そこでまづ一五九三年版の「續編」が何頁あるかを知りたく思つて、早速ストライト館の目録卷四、日本の部一五九三年の條を搜すと、1756 に前記の書名を錄し、8° 8 ffnc.; 477 pp.—St.: Göttingen, B. Univ. : H. E. Eccl. 80a.—B. Univ. : Jes. 1053 も出た。本文が四七七頁あれば完本であるも分つたが、尙念のため内容を検すると、第十一、マルチヌス・ペンベガシナロアで一五九一年十二月に書いた手紙が、四五八頁から四七七頁まである筈なのに、自分の本は四七二頁で切れてゐるから、僅かに最後の五頁だけが缺けてゐること及びこの完本がゲッテンゲンの大學圖書館とミンヘンの大學圖書館にあることを知つた。但し目録にはミンヘンの一字を脱してゐます。また本文の前付八丁もあるのは

何かの誤でしょう。兩大學の藏本はタイトル・ページから直に本文になつてゐることを、後日友人ランミニング氏から通知して來ました。

さて第二は書名が生憎缺けて居るので一寸當惑したが、之も段々頁を繰つてゆくと、第六七丁の表で一篇の手紙が終り、一五八三年二月十三日口、津にてルド井クス・フロイスク署名してある。目録一五八三年の條を見るも 1605 Avvisi cavati dalle Lettere del P. Luigi Frois S. J. al Molto Reverendo Padre Generale.—Del progreso del Christianesimo, della violenta morte di Nobunaga, & delle rivoluzioni da quella seguite.—Di Cocnozou: alli 13. de Febrero 1583 あるものに當ります。それからその手紙がりふへの書物に出でるかを見るも、總計六部の書名が擧げてあるが、その中獨逸語の分に Fernere Zeitung [Dilingen 1586] f. 1/67. があるのが見當つたから、今度は一五八六年の條を見ると、「八二年八三年及び八四年日本より來た其他の報告」一五八六年デリンゲン版 1676

Fernere Zeitung //auss Japon,// dess zwey vnd ach-

tzigsten, drey vnd //achtzigsten, vnd vier vnd
ach// tzigsten Jars. . . . Dillingen, M.D.LXXXVI. 8°
2 ffcc, 166 ff.—St. : München, B. Univ. : Jes. 1053 記し、例によつて本文の内容等が出てゐるからそれを自分の持本と比べると、正に符合し、不足の分はタイトル・ペーデ一丁、獻呈の辭一丁、本文一丁、都合三丁だけと分つた。

かう分つてくると不足の頁數は僅少であるから、之を寫眞で補充して、完全な本にしたいといふ念が起る。自分は熱田丸の船中からベルリンの日本學會のエム・ランミング氏宛に手紙を出して、その旨を依頼した所、同氏は親切にも早速ダッチンゲン及びミンヘン大學圖書館の書物を借出し、ベルリンにある本と對照し、その宜しさを撰び、寫眞にとつて送つて呉れたので、それを過日石田幹之助氏の世話で、良工をして本文に挿入せしめ二部とも完本となりました。之は自己一己の悦びばかりでなく、もし書物に生命があるならば、必ずそれを悦ぶだらうと信じます。

ゲッチンゲンやミンヘン大學の本を借出すとい

へば、大袈裟のやうですが、獨逸の各圖書館の間には連絡がよく取れてゐて、甲の圖書館へ登館するものが、その紹介で乙の圖書館の藏書を借覽する便宜があるのです。

これに就いて第二の「獨逸諸圖書館現在日本關係書籍目錄」が必要となるのです。これは昨年九月下旬から十月上旬へかけて自分が毎日ベルリンの日本學會に登館してゐる時に出來た謄寫版刷で、「訂正増補のため」と表紙にある通り、申さば草稿で、これを各圖書館に配布し、訂正増補を經て改めて印刷するを聞きました。ベルリンの普魯西國立圖書館以下獨逸國內各地各種の圖書館及びギーンの圖書館合計六十ヶ所から、印刷目錄で不足の分はカード目錄まで取寄せ、ベルタ・フォン・ショルツ嬢が主として整理の任に當つて出來たもので、一五四二年から一八五三年までに出版せられた書物と限つた意味は、一五四二年は葡萄牙人が始めて日本に來たと西洋側でいふ年、また一八五三年は米艦が浦賀に來た年で、これから「新日本」が始まつてつまり「舊日本」の目錄だと日本學會のトラウ

ツ幹事が言つて居られます。

この目録は著者のアルファベット順により、著者の不明の分は最初の名詞の頭字をとり、書名はタイトル・ペーチの全部を掲載し、大小・前付・本文・後付の丁數又は頁數、所在地の圖書館名とその函架番號とを記し、旅行記集の類はその全體の書名と函架番號とを列挙した點で、斯様な目

錄が無ければ、折角各圖書館の間に有無を通ずる宜い制度があつても、それを活かすことが出来ない。自分は日本の諸圖書館の間に一日も早く獨逸のやうな連絡の出来ること、並びに或る部門の書籍につき、この目録のやうに、その所藏圖書館名と函架番號とを列挙した目録の出来ることを希望するものです。研究材料の獨占は學問の進歩に種々の弊害を與へるものと、近頃切に感じてゐます。

(昭和五年十一月)

幸田成友